

燧灘貧酸素情報（第 2 号）

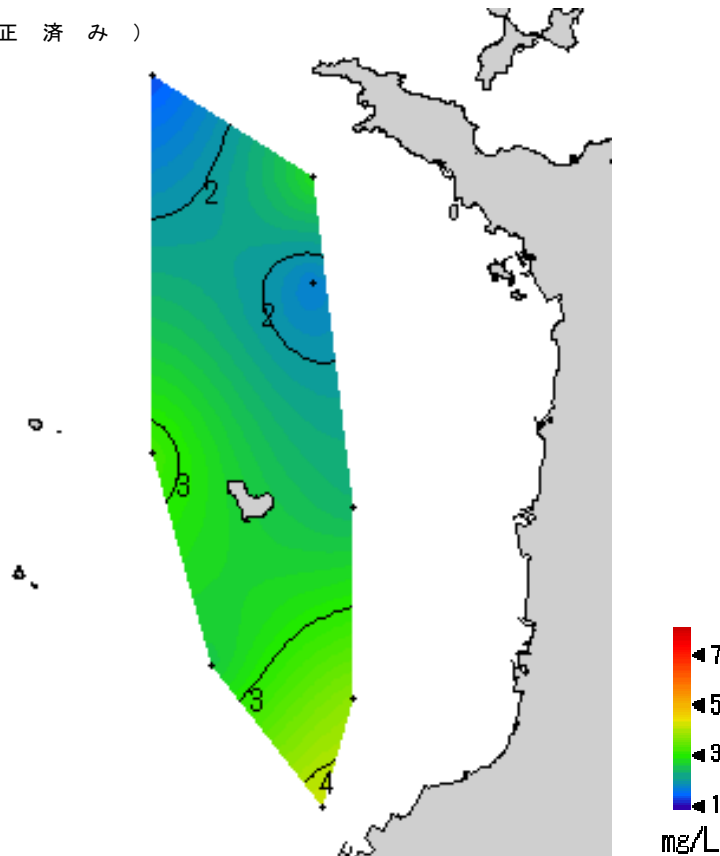
香川県水産試験場

8月20日観測結果

燧灘東部海域で，溶存酸素濃度（DO）が低下し，範囲が拡大しています。今後，水温の上昇に伴い，さらに貧酸素化の進行が予想されますので，動向に注意する必要があります。

調査名：卵稚仔調査

測定方法：DO計（補正済み）



底層の溶存酸素濃度分布

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。